『Hello NEW新居浜FM78.0』

令和２年２月 26 日（水）

○　令和元年中の全国の交通事故発生状況及びシートベルト着用状況全国調査結果について

１　令和元年中の全国の交通事故発生状況

死者数　　3,215 人（前年比－317 人）

発生件数　381,237 件（前年比－49,364 件）

負傷者数　461,775 人（前年比－64,071 人）

「死者数は、３年連続で戦後最小を更新

しかしながら、今なお多くの尊い命が失われていることに変わりない状況」

「交通事故を防ぐために、自動車や自転車の運転者、歩行者がそれぞれ相手の立場に配慮し、思いやりの気持ちをもって行動することが大事」

２　県内及び管内の交通事故発生状況（２月 25 日現在）

⑴　県内

発生件数　397 件（－13）

死者数　　４人（－３）

負傷者数　460 人（＋１）

⑵　管内

発生件数　43 件（－2）

死者数　　０人（±0）

負傷者数　52 人（－2）

３　令和元年のシートベルト着用状況全国調査結果

警察庁と一般社団法人日本自動車連盟（ＪＡＦ）が、令和元年 11 月５日（火）から 11 月 21 日（木）の間に合同で実施した。

シートベルト着用率（全国）一般道路

運転者 98.8％、助手席 95.9％　後部席 39.2％

シートベルト着用率（愛媛）一般道路

運転者 98.2％、助手席 94.1％　後部席 37.1％

シートベルト着用率（全国）高速道路

運転者 99.6％、助手席 98.3％　後部席 74.1％

シートベルト着用率（愛媛）高速道路

運転者 99.6％、助手席 99.7％　後部席 87.2％

一般道路では、愛媛県での調査結果は、いずれも全国平均を少し下回る水準であった。

高速道路では、愛媛県での調査結果は、運転席は全国平均と同率、助手席・後部席が全国平均を上回り、いずれも全国４位の高水準であった。

（平成 30 年は、助手席 97.8%、全国平均 98.5%、
後部席 72.7%、全国平均 74.2%）

高速道路はもとより、一般道路においても、後部席同乗者の着用率も 100%に近づけるべく、広報啓発活動を徹底していきたい。

なお、昨年の愛媛県の四輪乗車中の死者 14 人のうち、７人がシートベルト非着用。非着用者７人のうち４人は、シートベルトを着用していれば助かった可能性がある。

「自分及び大切な人の命を守るために、運転中は、乗員全てがシートベルト着用を！」